

特集

# 「寄り合いワークショップ」の活用 住民主体のコミュニティ再生を目指して

保健師が関わる健康づくりを通じた地域再生 古田加代子

「寄り合いワークショップ」の理論と方法 山浦晴男

【静岡県函南町の取り組み】

「子どもを産み育てやすいまち」を目指したコミュニティ再生  
三輪真知子

母子から高齢者までを視野に入れたまちづくりにおける  
行政職の役割と連携のポイント 棚井郁夫

母子から高齢者までを視野に入れたまちづくりにおける  
保健師の役割と連携のポイント 長屋容美

和歌山県における寄り合いワークショップによる地域づくりの  
取り組み 農業・農村むら機能活性化支援事業 中西一宏

PHOTO

「筋ちゃん広場」による健康づくりの展開 日置市の取り組み  
宮前美紀

連載

データウェアハウスを用いた保健医療統計データの活用 岡本悦司  
ナカイタ 保健師へのつづき 中板育美

統括保健師の日々 遠藤多紀子

ニュースウォーク 白井正夫

編集後記

●介護保険事業計画でデータに基づく課題分析・対応が求められ、インセンティブ付与があるなど、データヘルスは時代の要請という感じがさらに強くなっています。世の中の的に「ビッグデータ」という言葉をよく耳にしますが、保健・公衆衛生の世界ではまさに求められる観点になっているということを変更して感じました。●多くの統計データがネット上で得やすくなっていますが、その活用でお困りのことはないでしょうか。今後の企画なども検討していますので、ぜひ Twitter などでお声をお寄せください。(長原)

●算数でつまづいて以来、数学関連に苦手意識を持ってきたため、データ分析も重要性は理解しつつ、どうも及び腰になってしまいます。先の第6回日本公衆衛生看護学会の取材では、データヘルス計画実施への関心の高さを感じつつ、データ活用のためのAIの開発が進められていることを知りました。基本である数学・統計学の学びが重要なのはこれからも変わりませんが、将来的にはAIの力を借りて、「〇〇について分析して、グラフで示して」などの指示1つで、データの分析や見える化ができるようになればと夢想着してしまいました。(小林)

保健師ジャーナル 第74巻第4号 2018年4月10日発行(毎月1回10日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2018, Printed in Japan

1部定価：本体1,400円＋税

2018年年間購読料(送料弊社負担) 冊子版：本体14,280円＋税、冊子＋電子版/個人：本体17,280円＋税、

電子版/個人：本体14,280円＋税

販売部：☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室：☎(03)3817-5774 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当：小林/長原/伊藤

Twitter <http://www.twitter.com/hokenshiJ> Facebook <http://www.facebook.com/hokenshiJ>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

\*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。